



TOGAKU PRESS

TOGAKU 生の活躍を
応援するマガジン



みんなの TOGAKU PBL

「問いも答えも、自分でつくる。」が合言葉！

本学ならではの新しい学びのカたち、TOGAKU PBLに取り組み
問題解決力を成長させている在学生の姿をご紹介します。

ワースタが行く！

学園のルーツを探しに
史料室へ行ってみた！

100周年連載企画

白衣姿の女学生の謎

自強不息でいこう
“八塩ゼミのPBLで活躍”

右：戸上真歩さん(現代経営学部4年)
左：八重樫優月さん(現代経営学部4年)
詳しくはp.12へ

みんなの

TOGAKU PBL

どんな【問い】に
取り組んでいるの?

あらゆる学部・学科で活発に行われているTOGAKU PBL。

学生たちはどんな問いに取り組み、どんな答えを見つけたのでしょうか。
2024年に行われたPBLの中から一部をピックアップしてご紹介します。



「テレ東BIZ」PRの一環で
バナナジュースカフェを開催



「テレ東BIZ」の認知度アップに取り
組む八塩ゼミは、テレビ東京のキャ
ラクター「ナナナ」にちなんでバナ
ナジュースを販売。「テレ東BIZ」を
PRするチラシも配布しました。

⇒詳細はP.3



研究成果の展示とともに
ベトナムコーヒーを配布

隈本ゼミではベトナムカフェをテーマにPBL
を実施。コーヒー市場やカフェビジネス、ベト
ナムについて研究し、その成果を展示すると
ともに、ベトナムコーヒーを提供しました。

⇒詳細はP.4

TOPICS

TOGAKU SHOWCASEで PBLを見える化!

2026年の創立100周年を記念し、TOGAKU SHOWCASE
という展示スペースを1号館1階に設置。PBL関連の展示や
イベントなどを行っています。昨年は「カフェシリーズ」と題し、
5つのゼミが在学生向けにコンセプトカフェを展開。スモー
ルビジネスを体験する機会にもなりました。

PBLの展示スペースを
常設!



屋上育ちのハーブを使った
ポテトや手作り雑貨を販売



現代消費について研究する野村ゼ
ミは、屋上で採取したローズマリー
を使った新商品開発に挑戦。ガーリ
ックポテトと手作り石鹸&キャンド
ルを制作し、販売しました。

⇒詳細はP.3

産学連携の一環として
老舗店の和菓子販売

川端ゼミ&堀口ゼミが老舗和菓子屋「笹屋伊
織」とコラボ。若者に和菓子の魅力を伝える
施策の一環として、カフェで和菓子と飲み物
を提供したほか、研究成果のポスター展示も。

⇒詳細はP.4



【問い】

テレ東BIZの認知度を高めるには？

現代経営学部 マーケティングとメディア研究ゼミ（八塩圭子教授）

1年間のステップ

学生であることを強みにした 認知度向上プランを考案



八塩ゼミでは昨年、「テレ東BIZ」の協力を得てマーケティングプロジェクトを実施。「テレ東BIZ」は、テレビ東京が提供する日本最大級の経済動画配信サービスです。

ゼミ生たちは1年間かけて「テレ東BIZ」の認知度向上に向けた施策を考案。特に、当事者である“大学生”の入会・利用率アップを目指しました。そして、最終発表では4つの切り口からプランを提案。なかでも「親世代や企業がテレ東BIZをプレゼントし、使用体験につなげる」という案が高く評価されました。

在学生へのアンケート調査で「学内での認知度は高いがログイン率が低い」という課題を発見。その解決策を考え、提案しました。

中間発表（昨年7月）



テレ東BIZの生配信を視察（昨年5月）



「テレ東BIZ」への理解を深めるため、同番組のイベントに参加。テレビ局で行われた生配信の様子を視察しました。

放送の舞台裏を視察（昨年9月）



テレビ東京の本社を訪問し、生放送のスタジオ見学やキャスターへのインタビュー、副調整室の見学などを行いました。

最終発表（今年1月）



大学生が「テレ東BIZ」を利用したくなるような施策を考え、企業側に提案。高評価をいただきました。

提案が
高く評価され
大成功！

**TOGAKU
SHOWCASE**

学内イベントを実施（昨年11月）



学生のログイン率を高める施策として、「テレ東BIZ診断」のチラシを制作。バナナジュース販売と併せてチラシを配布しました。

ジュースで
集客しつつ
チラシを配布！

屋上から新名物を生み出すには？

【問い】

現代経営学部 現代消費研究ゼミ（野村拓也専任講師）



屋上のローズマリーを有効活用！ エコで魅力的な商品を開発・販売

エシカルやミニマリズム等、現代ならではの消費活動を研究している野村ゼミ。身近な題材として1号館の屋上に着目し、屋上菜園の展開を目指しています。長期的な目標は、屋上育ちのぶどうを使って地域の特産品となるようなワインを作ること！

そんな屋上菜園計画の第一歩となったのが、昨年のPBL。すでに屋上で育っていたローズマリーを原料とし、「何を作るか」「量はどれくらい配合するか」などをゼミ生たちがゼロから考え、3種類の商品を開発・販売しました。

屋上のハーブで
商品を開発＆
学内で販売



SDGsやサステナビリティに配慮してリニューアルされた1号館の屋上。その一角で育つローズマリーを商品化。

**TOGAKU
SHOWCASE**



今後の目標は
屋上でぶどうを栽培し、
“東京産ワイン”
を作ること！



ローズマリー風味のガーリックポテトに加え、手作りの石鹸＆キャンドルも販売。

商品を販売するゼミ生たち。商品化にあたっては、「最初はローズマリーの香りがあまりせず、配合量の調整に苦労した」との声も。

【問い】

ベトナムコーヒーの魅力を伝えるには？

現代経営学部 消費者心理理解に基づくマーケティング戦略の研究ゼミ (隈本純教授)

「多くの人にベトナムコーヒーの魅力を伝えてほしい」と意気込むゼミ生たち。カフェ開催前には、現地の人々がコーヒーを淹れる様子を動画で見ながら練習を重ねました。

苦みの強いベトナムコーヒーにひと手間加えて美味しく提供



マーケティング戦略を研究する隈本ゼミでは、ベトナムコーヒーを題材としたPBLを実施。ゼミ生たちは、まず「コーヒー市場」「カフェビジネス」「ベトナム」という三方向から調査研究を行い、知識を深めたうえで在学生向けの「ベトナムカフェ」を開催することに。

ベトナムコーヒーは苦みが強く、美味しさを伝えるには工夫が必要でした。そこで、ゼミ生たちは「バクシウ」という本場のスタイルに着目。コーヒーに練乳とミルクを加えた三層構造で在学生に提供し、人気を集めました。

こだわりのバクシウを
在学生に無料配布！



—— コーヒー
—— ミルク
—— 練乳



3つの角度から
研究した成果を
展示



「コーヒー市場」「カフェビジネス」「ベトナム」について事前に研究した成果をポスターにまとめ、カフェ期間中に展示。

TOGAKU
SHOWCASE



日本人の好みに
合わせたコーヒーを用意



ミルクと練乳はゼミ生がその場でブレンド。「本場のバクシウは日本人には甘すぎるかも」と考え、スィートからビターまで4段階を用意。

堀口ゼミによるプレゼンの様子。「心理学を生かした『占い』という付加価値を和菓子につける」など、心理学を学ぶ学生らしい提案も。

【問い】

Z世代が和菓子を手に取りやすくするには？

現代経営学部 日本経済研究ゼミ (川端和美准教授)

人間科学部 臨床心理学 (スクールカウンセリング・心理療法)ゼミ (堀口真宏教授)



経営・心理の両面から企画を考案 学内で和菓子カフェも開催！

学部の垣根を超え、現代経営学部の川端ゼミと人間科学部の堀口ゼミが合同で老舗和菓子屋「笹屋伊織」との産学連携プロジェクトを実施。「若者が和菓子を手に取りやすくするには」をテーマに研究を行い、現代経営学・心理学それぞれの視点を生かした企画案を「笹屋伊織」にプレゼンしました。

また、同プロジェクトの一環として学内でカフェを開催し、若者が気軽に買える特別価格で和菓子进行販売。さらに「笹屋伊織」の女将を招き、在学生に和菓子の魅力をレクチャーいただく場も設けました。

学内で実際に
和菓子販売！



老舗和菓子屋の女将が
魅力を伝授！

TOGAKU
SHOWCASE



カフェ開催に合わせ、「笹屋伊織」の十代目女将である田丸みゆき氏による特別講義も実施。



カフェでは本学の100周年記念にちなみ、「笹屋伊織」の和菓子を特別に100円で販売。在学生が和菓子を気軽に試す機会に。

和菓子の説明が入った
メニューを用意



一般参加者を募ったPBLも！

【問い】

衣類の廃棄問題を解決するには？

現代経営学部 文化関連事業のプロジェクト立案ゼミ（赤尾充哉教授）

ゼミ生たちの発案で リメイクワークショップを開催



衣服の廃棄問題について研究した赤尾ゼミ。意欲あふれるゼミ生たちは、「服の廃棄による環境汚染が問題になっており、自分たちに何かできることはないか」との想いから自発的にイベントを企画。一般参加者を募り、外部から講師を招いて「衣服リメイクワークショップ」を開催しました。



参加者は講師の指導を受けながら古着をリメイク。クリスマスリースやヘアアクセサリなどを制作しました

古着の
リメイク方法を
レクチャー



ワークショップを実施した赤尾ゼミの学生たち。



**TOGAKU
SHOWCASE**

衣類
廃棄問題に
関する
研究発表も！



イベントに合わせて学生による研究発表も実施。リサイクルの実態や廃棄された衣類のゆくえなどについて説明し、リメイクの意識を持つことを呼びかけました。

クラウドファンディングに挑戦！

【問い】

新ビジネスの資金を調達するには？

現代経営学部 デジタル時代における価値創造に関する研究ゼミ（馮曼教授）

クラファンで資金を調達し 調味料の開発を目指す！



大学生コンサルティングコンペティション「ConCom2024」に参加し、新品種のトウガラシ「香辛子」（ペッパー・レボリューション・カンパニー合同会社）の認知度向上施策を提案した馮ゼミ。同コンペで奨励賞を受賞し、「香辛子」を使った新商品の開発を目指すクラウドファンディングに挑戦しました。

その一環として、学内での試食会も実施。「香辛子」で味付けしたフライドポテトとクラムチャウダーを在学生に無料提供しました。



クラウドファンディングについて説明するチラシの配布も。

優しい辛さ＆
豊かな香りが魅力！



「香辛子」のパウダーで味付けした2種類の試食用フードを用意。

クラウドファンディングを実践！



「香辛子」の特長を生かした新しい調味料の開発資金を調達するべく、クラウドファンディングを行いました。

学内で
試食イベントを開催

**TOGAKU
SHOWCASE**



試食イベントで「香辛子」をPRする馮ゼミ。試食した学生からは「美味しい！」「スパイスとして購入したい」という反応が。

まだまだある！

注目のTOGAKU PBL10選

現 現代経営学部

人 人間科学部

グ グローバル・コミュニケーション学部



1

SDGsをテーマに各自が研究成果を発表

現 人 グ プレゼンTOGAKU

1年生全員が経験する毎年恒例のPBL。テーマに沿って自ら研究した内容をクラス内で発表し、そこで選出された代表者が1年生全員の前で発表します。昨年の共通テーマはSDGsでした。



2

支援団体と連携し社会課題の解決策を模索

現 石黒ゼミ

石黒ゼミは（一社）グラミン日本との産学連携を実施。シングル家庭の貧困や就活時のハラスメントなど、多様な社会課題をテクノロジーで支援するビジネスアイデアを提案しました。



3

一流企業のトップから生きた経営を学ぶ

現 現代経営研究会

現代社会を読み解くヒントを学ぶ公開講座「現代経営研究会」。昨年度は（株）スノーピークや（株）東京ドームなどの代表にご講演いただき、在学生が活発に質問する姿も見られました。



4

ドローンを扱う企業の魅力を動画で伝える

現 本庄ゼミ

本庄ゼミは（株）石川エナジーリサーチとの産学連携を実施。「ドローンのSNSブランディング」をテーマに研究を重ね、企業PR動画を制作・発信したのち、効果の検証まで行いました。



5

スポーツの視点からブランディングを考える

人 田蔵ゼミ

田蔵ゼミはALSOKとの産学連携を行い、「新規スポーツの分野でのブランディング案」を同社にプレゼン。地域と連携しながら健康増進を目指すマラソンイベントの開催を提案しました。



6

心と脳のつながりを実験しながら調査！

人 心理学実験

「心理学実験」の授業では、人間の心と脳のつながりを調べる実験に挑戦。学生自らが体験しながら4種類の実験を行ったのち、各実験の結果をデータにまとめ、レポートを作成しました。



7

「いじめ」の反対語をグループワークで導く

人 塩谷ゼミ

塩谷ゼミは、東京法務局と共同開発した「人権擁護を学ぶためのグループワーク」を渋谷区の中学校で開催。「いじめの反対語とは？」をテーマに、ゼミ生と全校生徒がワークを行い、自分と異なる価値観に触れる体験をしました。

8

見て、聞いて、触れて国際協力を理解する

グ 川ロゼミ・開発経済論

川ロゼミ・開発経済論の履修生がJICA地球ひろばで学外研修を実施。元海外協力隊員のお話を聞き、質疑応答を行ったほか、施設見学を通じてSDGsやJICAについて学びました。



9

街で思わず目を引く「ことば」を収集・分析してプレゼン

グ 飯尾ゼミ・高尾ゼミ

飯尾ゼミ・高尾ゼミでは、「TOKYO『ことば』探検隊」と題したフィールドスタディを秋葉原で実施。屋外広告や看板の目を引く「ことば」を収集・分析し、合同プレゼンで発表。優秀発表を選びました。



10

これまでの経験を活かした完成度の高い論文を発表

現 人 グ 卒業論文発表会

PBLを主体とする4年間の学びの集大成が卒業論文。学生たちは自ら研究テーマを設定し、調査・分析を重ねて自分なりの結論を導き出しました。学部ごとに行われる発表会では、代表者による見事なプレゼンの披露も。

100周年記念
スペシャル!



ワースタが行く!

学園のルーツを探しに 史料室へ行ってみた!

2026年に100周年を迎えるTOGAKUのルーツは、女性歯科医師の養成学校。
そんな100年前のアレコレを探しに、ワースタが史料室に潜入しました。

※ワースタ：ワーク・スタディ・スタッフ。職員と共に大学の入試・広報関連を行っている学生チーム。

指田&廣瀬の
4年生コンビがレポート



箱の中には歯の治療器具が!



実習で使う歯科器具は、貸与ではなく購入が基本でした。卒業後の開業資金を少しでも軽減させる意図があったそうです。

史料室ってこんな場所!



1号館9階にあり、本学の歴史にまつわる豊富な資料を展示。平日10:00～16:30の開館時間内は自由に見学可。室長の永藤さん(写真左)が応対してくれます。

100年前の
デンタルボックス
を発見!



歯科医専時代の実習アイテムを
専用ボックスごとと保存!

1926年に「東洋女子歯科医学専門学校」として創立した本学。当時、歯科医を目指して臨床実習に取り組んでいた学生が、実際に使った歯科用器具と収納箱を史料室で見学できます。

ネイルチップみたいな
歯の色見本も!



アメリカの一流メーカーによる歯の色見本。義歯の色合わせに使用していた。

WOW

これで
歯を
削りまーす!



※通常、器具に触れることはできません。

昔の学生たちはこのマシンで
歯科治療を学んでいた!

こちらは歯を削るための歯科旋盤。ペダルを足で踏んで動かす原始的なシステムで、現代より回転速度が低い分、痛かったとか。明治時代から戦後まで長く使われました。

原始的な足踏み式の
治療機器



他にも
気になる展示物が
いっぱい!

入れ歯を作るための鋳型 /



「東洋女子歯科医学専門学校(1926年～)」「東洋女子短期大学(1950年～)」を経て、現在の「東洋学園大学(1992年～)」になるまでのストーリーが詰まった史料室。歴史好きな人は一度訪れる価値アリ!

歯科医専時代の学帽



※通常、学帽は展示のみ。着用はできません。

短大時代のタイプライター /



取材後記

歯科医専時代の展示物は、今でも馴染みのある治療ツールに加え、見たことのない原始的な器具もあって驚きました。

また、本学の歴史だけでなく、本学周辺にある大学の歴史も一緒に学ぶことができて興味深かったです。

初めて史料室を訪れ、大学への理解が深まりました。特に、学校名を変えながら理系から文系へと変化したことや、歯科医専時代には多くの学生が寮で生活しながら学んでいたことが印象的でした。皆さんもぜひ訪問を!

100周年に向けてこんなにリニューアルも進行中! /

4号館の1・2・6階のトイレ(女子トイレ・多目的トイレ)をリニューアル。温かみのあるウッド調へと一新し、パウダースペースも新設しました。また、今年度は1号館・4号館のエアコン設備もリニューアル予定。より過ごしやすいキャンパスへと進化を続けています。



指田結依さん

廣瀬真樹さん

TOGAKU NEWS



学生たちの活躍や、大学からのお知らせなど
キャンパスライフにまつわるニュースをお届け！

最新ニュースは
こちら

卒業式

快晴のもと、新たな門出へ 2024年度東洋学園大学卒業式を挙



3/20（木）、2024年度東洋学園大学卒業式を挙行し、卒業生の門出を祝いました。卒業式では、各学部長より代表学生に学位記を授与。学部ごとの成績優秀者には学長賞が授与されました。また、式典終了後にはゼミの担当教員から一人ひとりに学位記が手渡されました。



入学式

自分を探す大学生活がスタート 桜咲く4月に2025年度入学式を挙



4/2（水）、2025年度の入学式を挙行。3学部と大学院の新入生・編入生が出席し、本学での第一歩を踏み出しました。入学式では、学生会会長を務める土井翔太さん（現代経営学部2年生）が歓迎の辞を述べたほか、新入生代表4名が登壇し、辻中学長に向けて宣誓を行いました。



学部長賞

資格試験やスポーツ大会などで 優秀な成績を収めた学生を表彰



現代経営&
グロコム学部

人間科学部

東洋学園大学では、資格試験や大会等で優秀な成績を収めた学生に学部長賞を授与しています。2024年度秋学期の受賞者は以下の通りです。

学部長賞受賞者

※学年は受賞当時

【現代経営学部】

- 畠下 隼 (2年) / 日商簿記検定2級
- 平良 円 (1年) / TOEIC Listening & Reading 965点
- 染谷 優奈 (4年) / TOPIK (韓国語能力試験) 5級
- 中村 理愛 (2年) / 第18回東日本学生フィギュアスケート選手権大会 女子5級クラス5位入賞

【人間科学部】

- 永野 諒 (3年) / MOS®世界学生大会2024日本代表選考Excel部門入賞
- S.O. (4年) / 心理学検定1級
- 高橋 征吾 (4年)、坪 桃子 (3年) / 心理学検定1級
- 岩崎 郁江 (4年)、橋 詠双葉 (4年)、高橋 征吾 (4年)、小林 侑生 (3年)、坂 龍之介 (3年)、鶴岡 奏妃 (3年)、水戸 優利 (3年)、山本 晃輔 (2年) / 心理学検定2級
- 佐藤 悠 (4年) / フィットネスクラブ・マネジメント技能検定3級
- 岩崎 郁江 (4年)、板倉 悠真 (1年)、上原 弘登 (1年)、齊藤 篤哉 (1年)、羽生 菜波 (1年)、皆川 雅 (1年) / 体力トレーニング検定3級
- 才川 凌太 (2年) / メンタルヘルス・マネジメント®検定試験Ⅲ種(セルフケアコース)

【グローバル・コミュニケーション学部】

- 邱 義洵 (3年) / HSK (中国語検定) 2級
- 関 美羽 (4年) / TOEIC Listening & Reading 760点
- 李 詩茹 (4年) / TOEIC Listening & Reading 740点
- 山本 葵生 (2年) / TOEIC Listening & Reading 665点
- 小泉 摩依 (4年) / TOEIC Listening & Reading IP750点
- 澤田 由佳里 (4年) / ホテルビジネス実務検定試験ベーシックレベル2級
- 大嶽 恵 (4年) / ホテルビジネス実務検定試験ベーシックレベル2級
- 石川 琴羽 (4年) / 第24回国際交流スピーチ大会 我孫子市国際交流協会会長賞

※MOS: マイクロソフトオフィススペシャリスト



現代経営学部とグローバル・コミュニケーション学部の受賞者



人間科学部の受賞者

学生相談室

セラピー犬やLOVOTが 在学生に癒しをお届け！



ドッグ
セラピー

LOVOT

学生相談室が在学生のための癒しイベントを開催。昨年10/31（木）には、学内で「ドッグセラピー体験会」を実施し、3匹の可愛いセラピー犬が来校して在学生の心を癒すに。また、昨年9月～12月上旬にかけて学内に家族型ロボットLOVOTの「コモモ」を導入し、学内各所に派遣。11/20（水）には「LOVOTふれあい体験会」を行いました。



愛らしいロボットが
みんなを笑顔に♪



ワースタ

活動の場を広げるワースタ YouTube動画も要チェック!

TOGAKUの“顔”として活躍する学生チーム、ワーク・スタディ・スタッフ(以下ワースタ)。昨年10/20(日)には、大学の地元・本郷エリアの団体が主催するイベント「第7回本郷百貨店祭り」に参加し、出し物や本部のサポートを行って地域との絆を深めました。

このほか、ワースタはTOGAKUの魅力を伝える情報バラエティ動画「ひるスタ」のMC・出演も務めています。これまで「ひるスタ」は学内での限定公開でしたが、ついに東洋学園大学公式YouTubeでの一般公開がスタート! ぜひチェックしてみてください。



本郷
百貨店祭り



ひるスタの
YouTube
はコチラ!



鑑真杯

上位入賞者3名が中国研修旅行へ! 「鑑真杯」中国語スピーチコンテスト

昨年12/14(土)、東洋学園大学主催 第12回「鑑真杯」中国語スピーチコンテスト(共催: 浙江旅游職業学院)が行われ、「暗唱・朗読部門」に9名、「スピーチ部門」に4名、「特別スピーチ部門」に2名が出場し、中国語の学習成果を発表しました。

結果は下記の通り。グランプリ受賞者ら3名は、副賞として「海外文化演習: 中国プログラム」(春休み実施)に参加。さまざまな文化体験のほか、浙江旅游職業学院の学生とも交流しました。



グランプリに
輝いた伊東さん



第12回「鑑真杯」中国語スピーチコンテスト 結果

【暗唱・朗読部門】

- 1位: 品川藍李(グローバル・コミュニケーション学部2年)
- 2位: 菊地亜由美(グローバル・コミュニケーション学部2年)
- 3位: 安倍美鈴(グローバル・コミュニケーション学部2年)
- 審査員長賞: 高山莉音(人間科学部1年)
- 審査員賞(代表): 岩淵晃大(グローバル・コミュニケーション学部2年)

【スピーチ部門・特別スピーチ部門】

- 1位: 伊東圭太(グローバル・コミュニケーション学部3年)
- 2位: 河村健(グローバル・コミュニケーション学部1年)
- 浙江学院 記念賞(特別賞): Maymona Ahmad (インターン)

【鑑真杯(グランプリ)】

- 伊東圭太(グローバル・コミュニケーション学部3年)

学生会

在学生や新入生のための イベントを学生会が企画・開催

学生会によるイベントが盛りだくさんのTOGAKU。そのひとつがクリスマスパーティーで、昨年12/23(月)にフェニックスホールで開催。ケーキや軽食の提供、軽音楽クラブRhymeによるライブ、豪華景品が当たるビンゴ大会などを実施し、在学生を楽しませてくれました。

また、今年4月には新入生歓迎イベントを開催。クラブ・サークル紹介のほか、お笑い芸人によるライブ&トークショーも企画し、新1年生を歓迎しました。



クリバ



新歓



豪華ビュッフェも
魅力のクリバ



留学

留学の相談は国際交流センターへ 昼休みにLounge Timeも開催!

1号館3階にある国際交流センターでは、短期・長期留学やワーホリ、スポーツ留学などの相談に常時乗っています。留学経験者の話も聞ける留学フェアや説明会のほか、海外からのインターンによる文化紹介イベント、アメリカや中国から訪れた大学生とのふれあいなど、学内での国際交流も盛んです。今後もさまざまなイベントが予定されているので、国際交流センターのホームページやSNSでご確認を。また、センター併設のGlobal Loungeでは、英語や中国語での会話、留学準備の語学練習などが気軽にできるLounge Timeを昼休みに開催中です。

英語で会話を
楽しもう



公開講座

誰でも気軽に参加OK! 公開講座(リベラルアーツ) 開講中

本学では、さまざまな教養(リベラルアーツ)を一流講師・文化人から学ぶ公開講座を開催しており、誰でも無料で参加できます(要予約)。2025年度は5月からスタートし、全6回開催予定。対面とオンラインの同時開催です。詳細はホームページでご確認を。



TOGAKU SPORTS

最新情報は
こちら！



男女テニス部は、入部したての1年生が春関でさっそく躍進を見せ
硬式野球部は2部優勝に向けて春季リーグ戦で好成績を記録中。
フィギュアスケート選手やCPサッカー選手の活躍も見逃せません！

男女テニス部

男女ともに新入生が入部し、春関で活躍！

男子テニス部は13名で活動中。関東大学テニスリーグの4部に所属し、3部昇格を目指しています。4～5月に行われた関東学生テニストーナメント大会（春関）では、2年の清水選手が2次予選セミファイナル(SF)まで進出する活躍を見せました。

女子テニス部は、春関で1年の下蔵選手・吉田選手のダブルスが2次予選SFに進出し、頭角を現しました。夏のリーグ戦は、ここ数年は部員数が足りず他大学との合同チームで出場していましたが、部員が4名に増えた今年は本学単独チームで出場予定。現在所属する5部から4部への昇格を狙っています。



主将
水谷凌将さん(人間科学部4年)

今年の目標は、団体戦の関東大学テニスリーグで男子3部、女子4部に昇格することです。今後は部員一人ひとりが自分で考え行動する力をつけ、各々が楽しくプレーできるチームにしていきたいです。また、学年の上下関係なく、気軽に意見を言い合って団結したいと思っています。



硬式野球部

2部優勝・1部昇格を目指して春季リーグで奮闘！

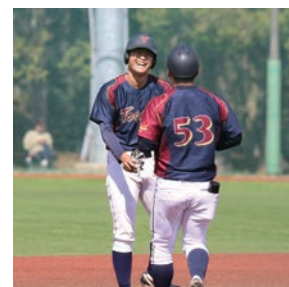
70名超で活動する本学の硬式野球部は、東京新大学野球連盟の2部リーグに所属。今年度は「向上心」をスローガンに、2部優勝・1部昇格を目指しています。

4～5月にかけて行われた春季リーグ戦では、初戦を9-7で勝利し、幸先のよいスタートを切ったものの、第2戦ではコールド負けという苦しい結果に。しかし、その後は第3戦7-6、第4戦11-0、第5戦3-1と3試合連続で勝利を収めました。第6戦は惜しくも敗れましたが、この時点で4勝2敗、リーグ首位に。最新情報はホームページでご確認ください。



主将
益子要さん(人間科学部4年)

「向上心」というスローガンの通り、練習でも私生活でも「上」を目指し、チームの士気は高まっています。応援してくださる方々には「最後まで諦めない姿勢」を見てほしいです。個人の目標は、主将としてチームを引っ張るようなプレーをすること。足でかき回し、チャンスで一本出し、守備もしっかり守って、試合の流れを作っていきたいです。



フィギュアスケート部（同好会）

中村選手が関東学生 女子5級で2位入賞！

2/8（土）に開催された「第52回関東学生フィギュアスケート選手権大会」の女子5級クラスに中村理愛選手（現代経営学部3年）が出演。同クラス2位に入賞するとともに、団体戦（各大学の個人順位を総合した大学間の順位）でも3位に。見事な成績を残し、「初めて5級の試合で表彰台に乗ることができ、本当に嬉しいです」とコメントしました。



CPサッカー

パラスポーツ「CPサッカー」の 国際大会に河野選手が参加

パラスポーツアスリートとして国内外の大会で活躍している河野凌久選手（人間科学部4年）。昨年11月には、スペインで開催された脳性まひ者7人制サッカー（通称CPサッカー）の国際大会に日本代表選手団の一員として参加。「今回はサポート役に徹しましたが、次シーズンは代表として試合に出場・活躍したいです」と意気込みを語っています。



写真とともに！



東洋学園100年の歴史に迫る！

七不思議

其の六

白衣姿の女学生がいる謎

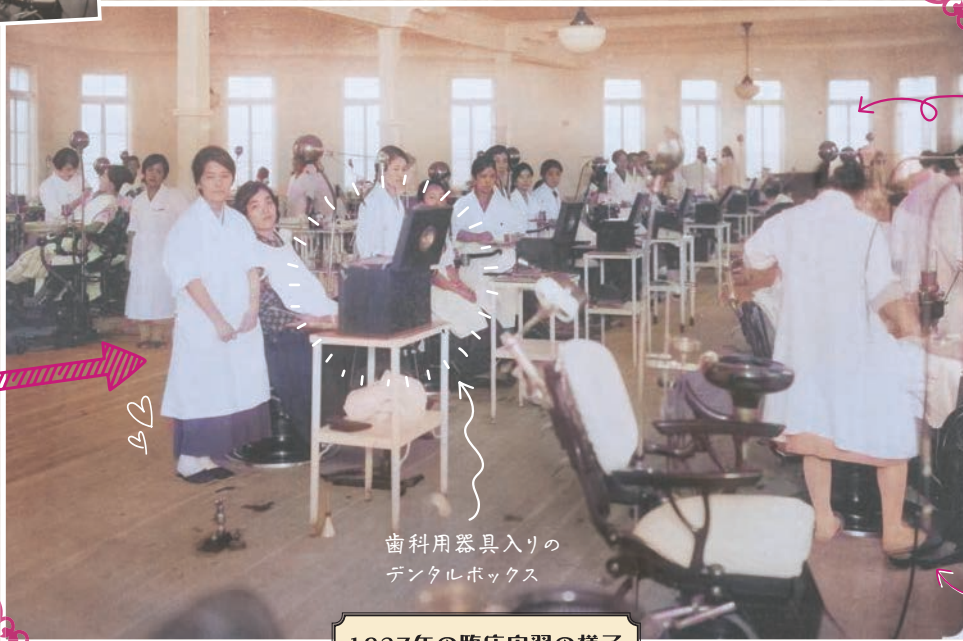
本学の原点は、「東洋女子歯科医学専門学校」という女性歯科医の養成学校。
だから昔の写真に白衣姿の女学生がたくさん写っているのです！

歯科医専時代の
デンタルボックスが
史料室に現存！



当時の写真に
色つけてみた！

実習時は白衣を着用。
ちなみに、通学生は登下校時に
制服、制帽を着用していた！



歯科用器具入りの
デンタルボックス

1927年の臨床実習の様子

実習用の教室。
現在の1号館2階に位置

歯の切削器械は足踏み式！
電動もありました

100年前の先輩が目指したのは、歯医者さん！

東洋学園のルーツである「東洋女子歯科医学専門学校（以下、東洋女子歯科医専）」の創立は1926（大正15）年11月4日。大正時代といえば女性の社会参加が進み始めた頃で、なかでも歯科医師は人気の職業でした。社会的地位が高く安定収入が得られるうえ、往診がなく家事や育児と両立しやすい点も魅力だったようです。

しかし当時、男子校はもちろんのこと、女子の歯科教育機関はさらに少なく、「東洋女子歯科医専」には全国各地から高い志を持つ女学生が集結。さらに、中国や台湾などからの留学生も多く見られました。1学年につき100名前後が在学し、その多くが寮生活を送りながら勉

学に励んでいました。

ちなみに、当時の「専門学校」は戦後の現行制度下で大学・短期大学となっています。「東洋女子歯科医専」の在学期間は4年半で、予科半年+本科3年+専攻科1年という内容。付属病院が設置され、国家資格である歯科医師免許の取得に向けて、学年が進むにつれ実践的に技術を学ぶ臨床実習を多く設定するカリキュラムとなっていました。

そんな「東洋女子歯科医専」の時代から、まもなく100年。今のTOGAKUになるまでの歴史をもっと詳しく知りたい人は、ぜひ1号館9階の史料室を訪れてみてください。



上：1938年に撮影された細菌実習の様子。当時は高価だったと思われる顕微鏡を使用している
下：1930年に撮影。学校に併設された付属病院の入口（吉崎坂側）に並ぶ学生と教員たち

東洋学園は2026年で100周年！

東洋学園
誕生！

戦後の学制・医制改革により
新規学生の募集が停止に

歯科医育成機関から短大へ
と転換。英語教育を重視し、
“英語の東洋”と呼ばれた

大学開学当初は
人文科学部の1学部のみ
現代経営学部を開設

人文科学部をグローバル・コミュニケーション
学部、人間科学部に再編。現在の3学部制に

1917（大正6）年

前身・明華女子歯科医学講習所開校

1926（大正15）年

東洋女子歯科医学専門学校 創立

1950（昭和25）年

東洋女子短期大学 開学

1992（平成4）年

東洋学園大学 開学

詳しくは
1号館9階の
史料室へ！



じきょうやまず #自彊不息でいこう

Vol.8

「自彊不息」とは、「日々の努力を怠らず学びに励むことで成長し、社会を変えていく人間になってほしい」という願いを込めて継承されてきた東洋学園大学の建学の精神。

このコーナーでは、個性豊かな学生たちが「自彊不息」を受け継ぎ、毎日の小さな努力を積み重ねて一歩ずつ成長している様子を紹介します。



八重樫優月さん(左上) (現代経営学部4年)

1年生の頃から、八塩ゼミで実践的なマーケティングを学びたいと願い続け、念願叶って同ゼミに所属。テレ東BIZプロジェクトでは、負担が大きいゼミ長を自発的にサポートしつつ、豊かなアイデア力でバナナジュースイベントも発案しました。

戸上真歩さん(右上) (現代経営学部4年)

中学・高校時代は陸上部に所属していた体育会系女子。そのアクティブさ&面倒見のよさを生かして八塩ゼミのゼミ長として奮闘。いつもニコニコみんなをまとめつつ、率先して資料作りなどを行い、テレ東BIZプロジェクトを成功に導きました。

